

座間中学校だより



令和6年2月13日

教頭:大西 NO.14

学校ホームページにはカラー版がアップされております。

5日の夜から降り始めた雪が6日朝には積もり、座間中学校の校庭もきれいな雪景色となりました。夜中の静けさの中、雪が降っている景色はとても美しく、何となく神聖な雰囲気を感じることができました。しかし、雪の残った道を歩くとなるとなかなか大変で、ニュースでも転倒や交通事故などが取り上げられていました。1つの事柄でも様々な面をもってると、改めて考えさせられます。物事を多角的に見ること・検討すること、視野を広くすることを意識しながら生活したいものです。

〇〇〇勉強する理由・学ぶということの意義〇〇〇

先日ハンセン病患者に対する差別についての研究などを行っている方から「“知らない”ということから、差別は始まる」という話を聞きました。また、実際に隔離されていた施設を訪れると、あまりに不便な場所にあり、本当に差別され、隔離されていたのだということを実感するという話もありました。生徒から、「なぜ勉強しなければいけないのか」という質問を受ける時があります。この言葉の中に、質問の答えの1つがあるような気がします。“勉強をする”“学ぶ”ことの意味はたくさんあると思いますが、“知る”ことによって、善悪を判断し、これから様々な差別をなくしていくことに繋がり、さらに互いを思いやることに繋がっていくのではないのでしょうか。中学校で学んでいることは、今後も様々なことを学ぶための土台になると考え、中学校生活を送ってもらいたいと思います。

一斉訓練 シェイクアウト

1月23日の火曜日、座間市では地震発生時に、自分の身の安全を確保する行動をとる、一斉訓練が行われ、座間中でも訓練を行いました。座間市としては2013年から実施していますので今年で12回目となります。『継続は力なり』という言葉もありますが、日頃の訓練がいざという時に役立つことが多いと思います。

改めて、シェイクアウトとは・・・
地震の際の安全確保行動
「まず低く、頭を守り、動かない」
を身につける機会。



地域交流協議会懇談会



座間中学校区には、地域交流協議会という団体があり、地域の方々が子どもたちのために活動してくれています。その一環として、2日(金)に生徒会本部の生徒と地域交流協議会の役員の方々との防災に関する話題を中心とした懇談会が行われました。その中で様々なアドバイスをいただいたり、質問に答えていただくことができました。日頃はなかなか話をすることのない地域の方と有意義な時間をもつ良い機会となり、ここで感じたことや考えたこと、学んだことを全校生徒に広めていくことの必要性も感じました。また、この懇談会を通して、シェイクアウト、避難訓練、引き渡し訓練といったそれぞれの訓練を行っていてもそれらの関連性についての認識が甘かったという課題も見つかりました。今後は学校として、この課題にどのように取り組んでいくか検討し、今後の防災教育に活かしていきます。

授業の様子



2年生の美術の授業です。それぞれ熱心に作業をすすめています。とても工夫されていて、個性溢れる作品ばかりです



2年生国語の授業です。

「走れメロス」について、学習班でワークシートをすすめながら話し合いをしているところです。どの班も活発な意見交換がされていました。



2年生英語のスピーチの授業です。事前には、ALTの先生にも原稿をチェックしてもらい、表情などにも気をつかいながら堂々と発表していました。聞く態度も立派でした。